第3学年 道德学習指導案

日 時 令和4年3月22日(火)第3校時 児 童 東川小学校 3年2組 32名 指導者 教諭 守屋 真奈美

1	主題名	[内容項目 B-8 礼儀]
2	資料名	「すてきな写真」(自作教材)
3	ねらい	主人公が町の人々と心を通じ合わせる姿から、挨拶の大切さについて考え、誰に対し
		ても真心をもって接しようとする心情を育てる。

4 本時の展開

4	本時の展開				
也 道温和	学習活動	◆教師の働きかけ			
指導過程	(○主な発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応)	★評価(評価方法)■ICT活用			
	1 あいさつについて想起する。○あいさつにはどのようなものがありますか。・おはよう・こんにちは・さようなら	◆■Mentimeter により、どのような意見が 出ているかを視覚的に捉えさせ、あいさつ に関心をもたせる。			
導入	2 あいさつの必要性について考える。○あいさつは、いつも必ずしなければならないのでしょうか。・した方がいいけど、できないときもある・しないといけないと決まっている・毎回はしなくてもいいかもしれない	◆あいさつの必要性を問うことで児童の価値観を揺さぶり、あいさつについて考えようとする意欲を高めさせる。 【主体的な学び】 ◆あいさつの有無による自分や相手の気持ちの変化にも触れる。			
	3 本時の学習テーマを確認する あいさつと心				
	4 お話を読み内容をつかむ○ひろこが東川町に来た目的は何ですか。・写真甲子園に出場するため・いい写真を撮って優勝したい	◆教師が範読する。 ◆ひろこの写真甲子園に懸ける情熱と、入賞 への熱意を捉えさせる。			
展開前半	5 自分が本当に撮りたかったものはこれだろうか、と悩むひろこの気持ちを考える。○なぜひろこには、いい写真が撮れたにも関わらず心にひっかかるものがあったのでしょう。・山や畑の写真もよかったが、これだ!とまでは思えなかった・ひろこが撮りたかったのは町の人の笑顔の写真だった	に気付かせる。			
	 6 「お疲れ様」の一言で気分が晴れた、ひろこの思いを考える。 ◎おばさんから「お疲れ様」と声をかけられ目の前がぱあっと明るくなったときの、ひろこの思いを考えましょう。 ・自分のことを気にかけてくれたことが分かり、嬉しかった ・自分のことを励ましてくれていると思った 	◆ひろこに目找関与させ、あいさつがひろ この心に与えた影響について考えさせる。			

	だったのかを考える。 ○ひろこが「本当に撮りたな写真だったのでしょうた ・みんなが笑っている写	たかった写真」とは、どん か。 真 か撮れない、いい笑顔の かいて考えたことを基に、	◆あいさつを通じて生まれた心の交流により 「すてきな写真」が生まれたことに気付か せる。 ■ロイロノートにより互いに考えを共有し、
展開後半	○自分も相手も気持ちよく過ごすために、あなたは どんなあいさつを、どんな思いをこめて していきたいと思いますか。		多様な意見に触れるようにする。
	《どんなあいさつを…》 ・おはよう ・さようなら	《どんな思いで…》 ・今日もがんばろう ・気持ちがいい朝だね ・また明日も遊ぼうね ・気をつけてね	◆他者の意見に触れたり、自分の意見を客観的に見つめたりすることを通じ、自身の考えをさらに深められるようにする。 【対話的な学び・深い学び】
	9 自分があいさつにこめた 考えたことをワークシー	:い思いや、授業を通じて トにまとめる。	★あいさつが相手の心に与える影響に気付き、自分事として考えている。 (発言・ワークシート)
終末	10 ゲストティーチャー (注)11 校内の先生からの手紙を		◆■Zoomにより主人公と対面する場を設定し、当時の気持ちや町の人々の温かさ、写真への思いについて聞く。 ■ロイロノートに教師からの手紙を送り、児童が自分で実際に手紙を読むことができるようにする。 ◆自分たちの普段のあいさつが周囲の心を温かくしていることに気付かせ、余韻をも

ち学習を終えることができるようにする。